



第40回光学薄膜研究会開催のご案内

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素は本研究会活動に対し格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本研究会では、新型コロナウイルスの取り巻く環境より、対応を慎重に検討した結果、機械振興会館など会場で開催するのは時期尚早と判断し、2021年度第3回 光学薄膜研究会も、Webを使用した形式で、下記の通り開催することを決定致しました。

皆様のご参加をお待ちしております。

◆日時 : 2021年11月12日 (金)

◆場所 : Microsoft teams を利用した Web 参加

お申込者全員に事務局の山口氏より参加招待メールを11月10日にお送り致します。招待メールが届かなかった場合お手数ですが、naotaka.yamaguchi@merckgroup.comまでお問い合わせ願います。

1. 光学薄膜研究会 研究会

研究会 : 13:30~15:15

定員 : 250名 (先着順)

参加費 : 【会 員】 無料 (法人会員、個人会員)
但し、法人会員3名/口まで

2. 【研究会プログラム】

2.1 代表挨拶 東海大学 室谷教授 (13:30-13:35)

2.2 『単一の光ファイバをセンシング端とする小型分光器の研究』 (13:35-14:20)

帝京大学 理工学部 情報電子工学科 室 幸市 氏

超小型分光センサ (分光器) が、国内及び国外で近年登場した。この超小型分光センサに、単一の光ファイバを用いた分光計測器を提案した。凹面内の局所的な反射率計測や、水溶液透過率のリアルタイム計測などが、簡便に行える。提案した計測器の測定原理や計測例を紹介する。

2.3 『先鋭化するスマートグラスに向けた原子層堆積装置およびエッチング装置』 (14:20-15:05)

株式会社オプトラン技術開発部 雀堂 健洋 氏

AR/VR スマートグラスは、製造業、物流、フィールドサービスなど多くの産業で利用されており、その市場規模は 2020 年から 2027 年にかけて 16.6%の CAGR で急成長していくと期待されています。このメガネレンズを介してユーザーに視覚情報を伝えるためには、(1) 導光板のような微細加工技術のみならず、(2) 色情報を付加するために回折光学素子技術が必要となります。このようなニーズに対して、我々は光学薄膜技術を基盤とし、原子層堆積 (ALD) 装置およびドライエッチング装置による開発を推し進めてきました。本講演では両装置および応用プロセスについて御説明いたします。

また、メガネのフレームに搭載されるカメラには正確な画像を取り込むことが求められますが、レンズ表面の反射に由来するゴースト/フレアは画像情報を歪めてしまいます。我々は ALD 装置により反射率が 0.1%を下回る super AR コーティングを実現し、レンズフレアを大きく低減いたしました。そこで、本講演では先のテーマと合わせて本技術をご紹介します。

2.4 事務局からのご案内 (15:05-15:15)

***注：プログラムは、諸般の事情により変更する場合がございます。**

3. 参加申込：光学薄膜研究会 事務局 齊藤 (info-otfse@otfse.org)宛 メールにて

- ① 研究会参加の有無 :
- ② 氏名, 会社名, 部署 :
- ③ メールアドレス :

をご連絡ください。申し込み締め切り11月5日(金)です。

※出来るだけ早いお申込にご協力戴けますと助かります。

以下、ご注意とお願いです。

- ・ 申込は①~③すべてにご記載をお願いします。未記載がありますと確認連絡が必要となりますので、お手数ですが、事務局の負担軽減にご協力お願いいたします。
代表者がお申込の場合も全員分のご記載をお願いします。
- ・ 講演資料は、11月5日頃に HP 会員ページにアップします。

以上